

# 事業概況報告

年度当初より、他施設の新規通所介護事業所の開設や開設予定の情報が相次ぎ、ご利用者様の減少が予測される中、平成 25 年度計画数 5,771 名、稼働率 79.9%の目標に向いスタートを切りました。

新規通所介護事業所の開設事業者の多くは、都心部での成功例を取り入れた機能訓練に特化した通所介護事業所や、通称「お泊りディ」なる宿泊可能な通所介護事業所であり、旧来型の通所介護事業所が敬遠され苦戦を強いられました。一昨年来よりの「苑の存続の危機」であると言う危機感を持ちつつ、常勤介護職員一名の補充を 6 月に頂き職員体制も整い利用者様の増員を図るべく、市内居宅介護支援事業所に営業活動行い、「ゆうわ苑でも出来る事」を職員間で知恵を絞り、新たに食事の前に口腔機能向上を図るべく食前に 8 分間の口腔体操の実施や、機能低下予防の為にレクリエーション前に 18 分間の機能低下予防体操を取り入れ、さらに希望者には機能訓練指導員を中心に 3m の歩行バーを用いた機能向上のご支援にも取り組みました。しかし、平成 25 年度目標に対して実績数 5,445 名、達成率 94.35%と目標を達成する事が出来ませんでした。

平成 26 年度も苗木地区で機能訓練・朝食・夕食対応の 25 名通所介護や本町地区で機能訓練二単位の事業所・坂本地区での小規模お泊りディなど開設予定や開設があると聞いています。今後も通所介護事業所の増加やお泊りディ・短期入所生活介護事業所と通所介護事業所とを併用される利用者の増加の影響を考えると、安定した利用者数の伸びは難しく、なお一層の利用者獲得の努力が必要と考えられます。ゆうわ苑は、開所より 25 年目となり設備の老朽化も顕著です。お客様のニーズに合ったサービスの提供や施設の改修・補修が必要であると思われます。

今後も職員一同危機感を持ち、コンプライアンスを重視し、ご利用者様・ご家族様・介護支援専門員様より選ばれる施設になるべくご利用者確保に努めてまいります。